

6月15日に創刊号が発行され馬の瞳もついに第三号を送り出す事が出来る事を大変嬉しく感じております。A.R.Cの情報提供は勿論、乗馬倶楽部という場所が皆様の憩いの場となり、今よりもより充実した乗馬ライフを提供する環境作りの一環として始めた馬の瞳ですが、最初は全く何もなく試行錯誤して作り始めました。創刊号、第二号と発行いたしまして、喜んでくださる方が増え、楽しみにして下さる方も多くスタッフ一同大変嬉しく感じております。これからもより良い「馬の瞳」を目指し頑張っていきたいと思っております。その為には、皆様にもっとこのペーパー作りにお力添えを頂きたいと考えております。是非、記事を書いてみてください。また、意見などをどんどんお寄せ下さい。そうして、皆様と共により良い物を作り上げていきたいと考えております。今後ともご協力、ご支援、お願い致します。



第三号
H17.8.16

馬の紹介コーナー vol.3
富士友

サラブレッド S51 5/5 牡
富士友号 通称トモくん、彼とは平成4年からの付き合いです。彼は内厩で小さく丸くなって寝転んでいる事が良くあり、それを見る度に「この子、こんなに小さかったのかな？」と驚かされます。彼に始めてあった時の印象は髪がボサツとした「いなかっぺ」といった感じ！山梨からA.R.Cに来ました。以前は素人の方が馬主で乗っていた為、人に従わないマイペースで不従順な「困ったくん」で、とても扱いにくかったのですが、会長が初めて騎乗した時に印象はあっさり覆されました。素晴らしい柔軟性、躍動感、跳躍力、従順性、まるで宝物を手にした気分でした。その後調教し扱いもよくなりました。そんな馬なので馬主もすぐつき、次々と馬主さんを満足させてくれました。今までも何人もの馬主さんを良い選手に育ててくれました。言わばベストスクーリングホースです。実は私事ですが高田家三兄弟も富士友号に足を向けて眠れないほどお世話になり、今でも三兄弟は富士友号が元気であるか気に掛けていると思っております。そんな彼のもう一つの一面は乗馬には珍しく去勢されていない牡馬である事です。いわゆる女性好きで牝馬を見たと興奮して目が血走ってしまいます。大きな声で雄叫びを上げることもしばしば…一度は地方の競技会に出向き、遠征先で可愛い牝馬を見つけたのか厩舎を抜け出しラブコール、その結果あえなく後ろ蹴り…目を負傷し競技会に参加出来ず帰ってきた…なんて事もありました。彼のエピソードは数知れず、今でも子供さん女性の会員さんのスクーリングホースです。おじいちゃんなので左後足が痛くて上げにくいのですが、歳に免じて許してください。今ではA.R.Cで一番の高年齢ですが、まだまだ若い者には負けられない…つもりのトモ君でした。



馬学講習会開催

9月 10.11 日 午後12:30～13:15にARC空港乗馬倶楽部事務所内にて馬学講習会(無料)を開催します。会長本人の直接指導ですので馬術向上を目指すなら是非ご参加下さい。

馬具のお話 vol.03

FLY AWAY

夏真っ盛り、暑い中、会員さんの皆さんには乗馬を楽しんでいただいておりますが、夏から秋にかけて、乗馬クラブの…いえ、馬達の天敵である「ハエ」が活発に活動します。A.R.Cでは「ハエ」退治に勤めていますがなかなか減りません馬装、手入れ中だけでなく、乗馬練習中も馬達がハエを嫌がって集中出来ない事が多々あります、そこで考え出されたハエよけスプレー「FLY AWAY」をご利用下さい。フライアウェイを馬装の時、乗馬前に馬の胸先、首、肩、お腹の下、股の間などに拭き付けてから乗馬をすると、完全とはいえませんが馬の集中がハエによって途切れる確立は大幅に減ります。夏の必須アイテム的な一品です。但しスプレーする際に「シュー」という音を怖がる馬もいますので十分注意してご使用下さい、又使用方法はスタッフにお尋ね下さい。
FLY AWAY 500ml 3,200円 1000ml 5,500円



猫の名前決りました

休憩所を拠点とし今では当たり前のように居座る猫
そもそも宗像インストラクターのパンを無断飲食したことから始まったのですが、現在では会員さんのハートを見事キャッチし居住権を取得してしまいました。
一時期はケガを負い心配を掛けた事もありますが今ではすっかり元気になり会員さんのブーツバックに忍び込むなどしてヤンチャな顔を覗かせています。
そんな彼女にとうとう固有名詞が決定しましたので報告いたします。投稿して下さいました会員の皆様ありがとうございました。
彼女の名前は「きらら」となりました。
安藤さん素敵なお名前をありがとうございました。
その他にも「キャロル」「チェリー」「さち子」「ココア」「ショートケーキ」「コロン」「チィ」「ジュリア」等々数多くの投稿を頂きました。
これからも「きらら」を可愛がってください。
しかし悪戯したら怒ってあげてください。



カナディアンキャンプ

毎年恒例外乗ツアーwithカナディアンキャンプ
写真だけでは今一感じない臨場感
参加されなかった会員さんにも外乗旅行の楽しさを知って貰いたく馬の瞳制作者の立場を乱用し伊藤インストラクターにレポート提出を要求(プチ脅迫)
真壁さんも突然の注文に快く承諾して頂き誠にありがとうございました。

カナキャンレポート

伊藤大介

暑さも本格的になり時々ふらっとしてしまう今日この頃ですが7月30・31日と会員の皆様とカナディアンキャンプ(外乗ツアー*以後カナキャン)に行っていました!! 今年も昨年に続き参加して下さった方も勿論の事、今回初めて参加して下さった方がとても多く本当にありがとうございました。皆様楽しんで頂けたでしょうか? まっ帰りの空港での顔を見れば一目瞭然でしたが(笑)是非! 来年も参加して頂けるとありがたい限りです。

さて、少しだけ今回の外乗についてお話させていただきますと... 実は自分の中でのヤマ場は勿論外乗も素晴らしく楽しかったのですが、自分は初日の昼食に有りました。それは何かと言いますと、カナキャンに隣接している『温や』に存在するという『玄海カレー』にありました! 前回の記事でも紹介しているだけあって「これは食べねば!!」と意気揚々とお昼の時間を楽しみにしていましたが、実際はカナキャンの方々と挨拶やら最終確認をしていましたら『アツ』という間に時間が無くなってしまい『ぶっ掛けうどん』に落ちて着事にあいました(俄涙)美味しいと紹介させて頂いただけありましてほとんどの方が『玄海カレー』を頼んでいらっしゃいました... 会員さん美味しかったですか? 実は僕も食べたかったです(泣)さてそんなこんなで最後になりますが、こんな至らない引率者の面倒を皆様見て頂き本当にありがとうございました! 来年もぜひ参加して頂けますようお願いいたします。

2005 カナディアンキャンプレポート

真壁かおる

7月30日天気予報は「福岡 雨」。ARC外乗ツアーの一行は出発しました。福岡空港に着き、迎いの車の窓からは雨が見え...。カナキャン到着。天気は「おー晴天!!」。馬(沢山)犬(4匹)猫(2匹)とスタッフの方々が、暖かく迎えてくださいました。拾われ猫の“さつき”はいたずら盛りで ARCの赤ちゃん猫と同じ位でした。かわいいな~。食事をしてA班は外乗へ、B班の私達はホテルへ向い、A班がホテルまで戻るのを待ちました。(その間プールで泳いだ人もいたようで...)

ホテル脇の広場で待っていると、クタクタのA班が戻っていらっしゃいました。暑かったしね。馬に水を飲ませ休息。その間、女性スタッフの上田さんが、馬の足を自分の足で挟み蹄鉄を打ち直しているのを発見。凄い!

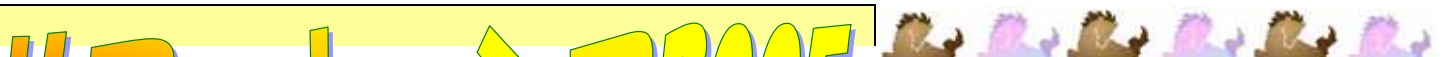
馬乗り代わり、B出発。「車の脇を 馬で行くの? ドキドキ。」と思いきや、ちゃんと横断歩道も渡れ、森の道に突入。木がうっそうと生い茂る中、馬のおなかをポンと蹴ると「あら? 駆歩してる!」(これまで私は駆歩ができなかったのに)しかし私のおしりがポコポコ飛び跳ねてる。「あの上田さ~ん」。...ウエスタン鞍の乗り方をアドバイスしていただきました。すると、跳ねは納まり、私の緊張もほぐれ、リラックス駆歩ができました。「やった! 走ってる! 走ってる!」木立の香り! 駆け抜ける葉音! 気分は童話の主人公! 山道の上り下りも馬は上手で、乗り手の腕前は関係なかったようです。

森を抜けると、どこまでも続く海岸線を走りました。ずぶずぶと、海の中へも入って行きました。夕方、風も気持ち良く、馬と一緒に幸せでした。2時間の外乗は、あっという間に終わってしまいました。

温泉に入り、夕食は玄海灘の美味しい海の幸に舌鼓を打ち、その後は、喋った人々、歌った人々、それぞれに過ごし、明日に備えました。31日、3時間外乗の5人は、皆より1時間早く海岸へ出発。昨日やっと駆歩が出るようになった私は、まだ左手が鞍のコブにくっついていました。「その手 離してみたら?」とオーナーの山口さんからのアドバイス。恐る恐る離してみると...。片手で手綱を持って走れたっ。「嬉しい!」

釣り人の邪魔をしないように気を配りつつ、朝の真っ直ぐな海岸線を思う存分に走りました。気分は暴れん坊将軍! 西部劇のように横並び1列で走ったりして「爽快!」でした。山口さんのガイドは楽しく、スタッフの久米さんのおしりは鞍にピタッ、と付いて不思議でした。途中海岸でBの皆さんと落ち合い、休みつつ 山の中、町の中を歩いてホテルに帰りました。ホテルで、Aの皆さんに馬をお渡ししたのですが、「町は暑かったね。ゴメンネ ストリーカー。」次に来る時は、馬に負担を掛けずに乗れるようになります。たった2日で、1週間くらい楽しんだような とても充実した旅でした。

企画してくださったARC 伊藤さん カナキャンスタッフの方々、一緒に皆さん、頑張った馬達、心から ありがとうございます。



サマーキャンプ2005



7月26～28日に開催されたサマーキャンプ
溜めに溜め込んだ元気をこれでもかと隠す事無くさらけ出し！

常に全力投球の三日間でした！
厩務に始まり部班レッスン、フォークダンス、ドッチボール、スラロームリレー、プールの、バーベキュー、花火、等々数多くのイベントを用意し子供達と面白い数日を過ごせました。
休む事を知らない子供達の勢いにスタッフもタジタジ…
急遽企画されたり大会も喜んで参加してくれました。
次回も今回よりも更にボリュームアップしたキャンプを開催しますので今年参加した子も参加できなかった子も来年の夏、乗馬倶楽部で楽しい思い出を作りましょう。



スタッフそれぞれ記事



高田葉子コラム「ARCサマーキャンプ体験記」

7月27日～29日A.R.Cにてサマーキャンプが開催されました。
学生の会員の中で12名(男子-5名・女子-7名)の参加があり、下は小学2年生から上は高校3年生と年齢層も幅広く子供達皆が楽しくキャンプ中過ごせるか少し不安がありました。子供達も日頃、いつも顔を合わせている訳ではなくキャンプで初めて知り合った子供達もいました。内容的にはA.R.Cのホームページでご覧になるとわかりますが、朝の飼付け、飼作り、水やり、厩舎作業、乗馬、ドッチボール、フォークダンス、プール遊び、花火、バーベキュー、カレー作りと内容的には充実していました。私はプール遊びには参加しませんでした。何をやるにも子供達はかなり全力投球で、とてもとても暑い中パワー全開で、ドッチボール、プール遊びはいうまでもなく120%楽しんでいました。但しフォークダンスは、始めはブーイング「いやだいやだ…」と、しかし曲を流しだすと間違えてはいけなないと夢中でダンスをしていました。その中でもメインの乗馬は見事で子供と馬の一体感は見ていると気持ち良く、自然体の重要性を強く感じました。
キャンプの楽しみは、夜のお休みタイムとお風呂がメインです。子供達は、初日は興奮気味で3時間程しか寝ないでゴソゴソ。2日目はやっと寝かせて貰いました。お風呂は近くの「楽の湯」に行き思い切り楽しみました。最近の私の生活は子供のいない生活になって早5ヶ月、静かな生活を送っている私にはかなりハードな体験でした。けれども3日目の帰りには「俺来年も来るねー」「私も絶対来年来る！！」とってくれる子供達の声に私の心と体が癒されました。

「限りなく透明に近いブルー」 星野龍之介

海の青さ、空の青、花の色、緑などなど自然界には、同じ色を作り出したとしてもどこか違う、人が創造しきれない美しさを持った物が沢山有る。
沖縄で生まれ、沖縄で育った僕は、豊かな自然に囲まれて成長してきた。海で遊ぶ事が大好きだった父と、休みの度に一緒に海に行った。釣り、シーカヤック、ウィンドサーフィン、シュノーケルなど、色々な遊びを教えてもらった。初めて、シュノーケルをした時、僕は小学生になったばかりの頃だった。まずは、すぐその浅瀬で少し練習をして、それから足のつかないところを泳いで沖に行く。沖縄はサンゴ礁地帯の為、沖にリーフというサンゴ礁が広がった浅瀬がある。場所にもよるが、潮が引いているときは立って歩けるくらい浅い。初めて、そこまで辿り着いたとき、あまりの綺麗さに驚き、自然の生み出した驚異的な美しさに鳥肌が立ったのを今でも覚えている。リーフには、沢山の生物が生息している。透明度が高く、空からの青をそのまま海中にまで持ってきたような薄い透き通るようなブルーの水の中に、そこら辺見渡す限りのサンゴ、様々な色の魚が自由に泳ぎまわり、イソギンチャク、時にはイカが泳いでいたり、サンゴの間隙からタコがこちらを覗いていることもある。運がよければ、岩の間隙にサザエを見つけることも出来たし、シャコ貝が口を開いていることもあった。そこは、本当に美しい生物の宝庫であった。また、リーフを超えると、今度は崖になっていて、とても深く深くなっている。そこは、生物の姿は少なくなるが、また違った種類の生物が生息している。魚であれば、回遊魚がいたり、マンボウ、割と大型な魚が多くなる。マンタ、ウミガメ、サメなど、勿論、見れる時と、見れない時とその日によって違うが、水族館で見られるような生物を見ることがよくあった。
初めて、そこまで行ったときは、海底が見えず、どんどん深くなるほど濃くなっていくブルーに吸い込まれそうな気がして、美しいのだが恐怖を覚えた。10m程潜ると、人間は上下左右の感覚がなくなってくる。そこから見る水面もまた特別な綺麗さがある。
自然の美しさ、それは永遠に何にも越えることのできない美しさである。だが、それは凄く脆く壊れるときは一瞬である。どうか、次の世代、その次の世代と子孫にその美しさを残していきたいのである。

小島貴志のインナースペース「王蟲(オウム)のさえざり」

どうも、ここARCでインストラクターをしている小島です。長かった梅雨も終わりようやく夏が来てしまいました。ええ！来てしまいましたとも！！無駄に暑いこの季節、皆様方はどのようにお過ごしでしょうか？私はクーラーの設定温度を高めにし、扇風機を回す位しかしていませんが…何か妙案はありますか？あったら是非教えてください。7月頭にあった指導者講習会も無事終わりそこはかとなくパワーアップした気分の私ですが…どうでしょう？厳しくなった、優しくなった、訳が解らなくなった、解りやすくなった、などなど色々意見が有る人も無い人もいると思いますが、もしよろしければ物申してください。
話が極端に変わりますが…7月末にはサマーキャンプが行われました。普段は見られない子供達の姿にびっくりしたり驚いたり…て、一緒にですね(笑)ドッチボールでの驚異的なキャッチング能力だったりスローイングの速さだったり…はたまた作業中の行動力だったり見かけによらず力持ちだったり…と、とにかく驚きっぱなしでした。(笑)皆昨年と比べて成長しているんだなあ、と心がいっぱいになりました。今年初めて参加した子供達もこれからどういう風に成長するのかとても楽しみです。
先月号では馬の丸洗いの始め方、見たいな事を少々書きましたが今回は終わり方をまた少々…馬を水で洗ったあと、水切りをしてお腹の下と脚をまず乾かしてあげましょう。脚を拭くのは普段通りですが、お腹を濡らしたままにしておくと冷えて仙痛(腹痛)をおこしやすくなってしまいます。まあ人間と一緒にですね。違うのは馬の場合、腹痛が原因で死んでしまうという事が多々あることです。ですので洗ったあと馬房に早く戻してあげたい気持ちは解りますがお腹の下と脚だけは必ず拭いて乾かしてあげましょう。ぶっちゃげ首と背中はいくら濡れていても大丈夫です、少しくらい…。まあお腹を拭いている間に大体乾きますので心配はいらないと思います。

今月の名言「理解せよ、理解なくして応用はない」

岸野豊のマイソロジー「続・きっしの愛犬」

暑いですが、こんな時暑さを癒してくれるものが必要です。岸野家の犬、さくらは先月に比べかなり大きくなって垂れてた耳がぴんと立って少しく大人に近づいた感じがして、でも、吠えたりトイレも違う所しちゃうヤンチャ盛りですけど…最近はずまなくなってきました。まだと日なにもお座り、お手、おかわり、おせ、まで出来る様になりました。なのでちょっとかなり賢いはずですが、とてまた懐っこい子で

